

2025年 大阪・関西万博開催にあたって



阪神高速は、関西のくらしや経済・社会活動を支えるインフラ企業として、大阪・関西万博の成功に貢献し、未来社会を描きます。

©Expo 2025

① 万博開催に向けた、これまでの主な取り組み

交通円滑化への貢献

シャトルバスによるアクセスルートとなる淀川左岸線(2期)の整備を関係自治体と協力して実施しました。また、渋滞の原因となるボトルネック対策など、渋滞緩和、快適な走行や万博交通の輸送円滑化などに貢献する工事を実施しました。

📖 P.33：淀川左岸線(2期)整備

多様なニーズに対するサービス提供

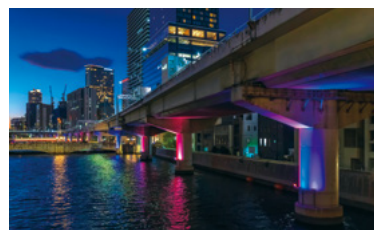
パーキングエリアでは、多言語表示やピクトグラム表示などによるインバウンド対応のほか、大阪府内産木材を使用したインフォメーションカウンターのリニューアルなどにより、多様なお客さまへのご案内を充実させました。

機運醸成につながる地域のにぎわい創出

会場周辺や観光客が集まるスポットを中心に道路構造物への修景による都市景観の形成に取り組むなど万博の機運醸成につながる地域のにぎわい創出に取り組みました。なお、湾岸線長大橋や中之島エリアにおいては、LED照明を用いた開催期間中のライトアップにも引き続き取り組みます。



大阪府内産木材を積極活用(泉大津PA)



万博をイメージした阪神高速・橋脚のライトアップ(中之島付近)

② 万博開催期間中～終了後を見据えた、主な取り組み

LINE公式アカウントの機能強化

阪神高速のオールインワン情報ツール「LINE公式アカウント」を機能強化し、万博に来場されるお客さまに阪神高速の交通情報などニーズに応じたタイムリーな情報を提供します。

📖 P.58：阪神高速のLINE公式アカウント

万博バーチャル会場への出展

2025年5月13日から19日までの間、万博バーチャル会場に出展し「サステナブルシティ」である大阪・関西の歴史と、それに深く関わった交通網の変遷やその先の未来像を、CG映像とVR空間で体感いただく機会を提供しました。

「未来社会の実験場」にふさわしい先進技術での貢献

万博のコンセプトである「未来社会の実験場」にふさわしい先進技術で貢献するとともに、その成果の実装に向け引き続き取り組みを進めていきます。

《阪神高速道路(株)が提供する先進技術》

- 自動運転車(シャトルバス)への路車協調技術支援 📖 P.55
- 万博駐車場交通連携システム(ETC情報連携) 📖 P.56
- 次世代TDMシステムの実証実験プロジェクト“Wemos” 📖 P.56

大阪・関西万博に関する取り組みの詳細は阪神高速ホームページで紹介しています。

